

A photograph of a forest stream with water flowing over moss-covered rocks. The scene is lush and green, with sunlight filtering through the trees. The text is overlaid on the image.

もうひとつの国産材

J. RED

屋久島地杉シリーズ

CEDER

■屋久島とその環境

温帯に位置し花崗岩が隆起してできた地質、
かつ2000m級の山々あり「空にダムがある」と言われるほど
1年中雨の降る**特殊環境**

その昔は豊臣秀吉が京都方広寺の大仏殿建立にも使用したと
いわれる良材の産地

更には「木の屋根」である「平木」を年貢として納めていた歴史

そこに共通するのは・・・

「高い油分」「独自の含有成分バランス」に起因する

高い耐久性

高い耐候性

強度

この土地の杉は日本杉でありながら「もうひとつの国産杉」と私たちは考えます

■屋久杉と世界遺産

- ・1924年 屋久島スギ原始林天然記念物
- ・1954年 特別天然記念物
- ・1993年 世界自然遺産登録

屋久杉 : 1000年以上
小杉 : 1000年以下

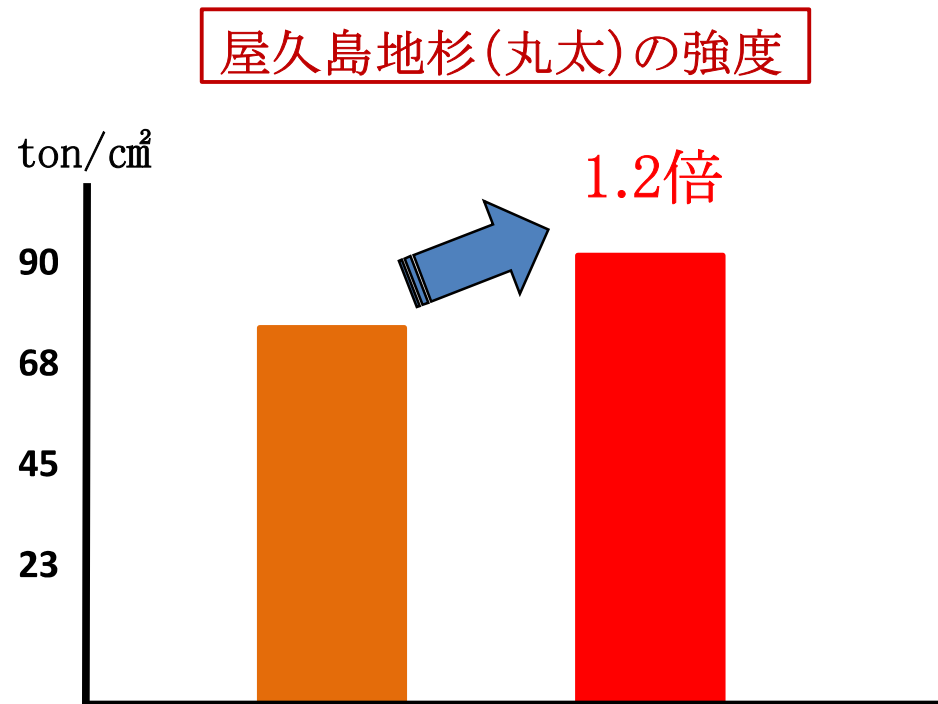
世界自然遺産に登録範囲は島全体の21%
→多くの人たちが暮らしながら優れた自然が残っている
→自然美および美的な重要性をもつ最高の自然現象・地域

その中で生態系の観点から「屋久島由来の植林」
→30-70年生の植林木

これが・・・「屋久島地杉」

■強度が高い

杉のヤング係数は一般的(全国平均)には70-80ton/cm²
→屋久島地杉の強度(ヤング係数)は90ton/cm²



芯材の油分における耐久性
芯材部分に油分含有量が通常の杉と比較し多いため耐久性・耐候性に優れています

Chapter
6

J. RED CEDER

屋久島地杉プログラムが目指すもの

■次世代の地域材ブランド構築を！！

屋久島地杉の現状 → 丸太、チップ用材



島外に広く広める → 林業活性化・将来的な林業の自立
山・製材所の方たちの強い思いからプロジェクトスタート！



有限資材の活用、そしてこの還元（環境負荷ではなく再生）
サプライチェーンの確立と森林の具体的な還元



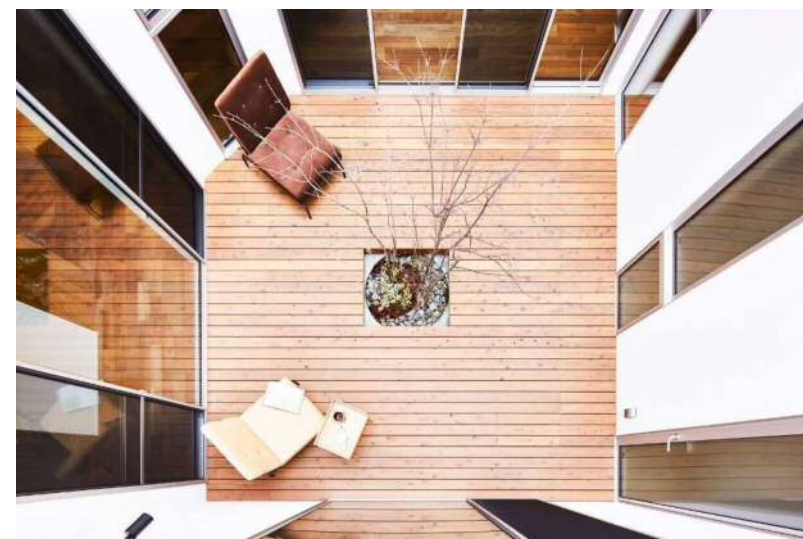
お客様と「共有」 → 「森とお客様の繋がり」

「新たな地域材ブランド」

デッキ: 35x110x4000 90x90x3000



ウッドデッキ施工例



屋久島地杉ボードラフ 16x110x2000mm



屋久島地杉フロア 18x90-105 30x135-210



屋久島地杉フロア 18x90-105 30x135-210



屋久島地杉羽目板 12x75-90mm



屋久島地杉フリーボード 25-30x600x2730mm



屋久島地杉外壁T&G18x90-100x2950-3950mm



屋久島地杉 ツキ板 3x6、3x7、3x8等

